

# NPO救命おかやま 会報

Vol. 25

NPO  
救命おかやま  
Kyumei Okayama



2015. 10. 1 発行

## 1. ご挨拶



担当：岡本知子（事務局長）



### 「ACLS 岡山から NPO 10 周年、ともにあゆんだ 15 年」

まずは、NPO 救命おかやまがこの度 10 周年を迎えられたことを、本当にうれしく思いますとともに、皆様と一緒にこの活動を 10 年（ACLS 岡山からだとも 15 年ですね。）歩いてこられたことに、厚く御礼申し上げます。

ACLS 岡山コース開催の立ち上げと準備、NPO 救命おかやま法人化と活動維持、これらは、今までの教室事務や学会事務処理等とは全く違った難題で、起業のような業務に戸惑いながらも、ある時は理事の方々とともに、ある時はコアスタッフの方々とともに、ある時はコース開催の方々と共に、そしてある時は会員の方々と共に、目の前に降りてくる宿題を一つずつクリアして、どうにか、今につながってきたように思います。多くの会員の皆様をご存知のように、初めは、「ICLS コースを岡山大学で開催しようかな？」そして、程なくして「ACLS 岡山を法人化しようかな？」という、氏家理事長の言葉に端を発する訳ですが、15 年前のあの日から今日までの NPO の発展を思う時、全てが報われたように思い、NPO に関わった私の時間を皆様が意義のあるものにしていただきました。

そして、会員の皆様の垣根をこえて協力されている惜しみない活動への継続は、10 周年を迎えた今年、おかやまマラソン救護活動の AED 班として岡山県から依頼を受けるほどに信頼をいただける団体となり、揺るぎのないものとなっていることを実感し、安堵いたしました。

その 10 周年を迎えた今年、氏家理事長の岡山大学退官という節目とともに、NPO も新たな転機を迎えているように思います。そんな折、事務局長という役職を依頼されたわけですが、事務局長といっても他に事務をする人は誰もいないわけですから、物理的にも心理的にもかなりの違和感もありつつ（苦笑）、責任も感じつつ、私自身の環境も変わりつつ、今は引き続きお手伝いをさせていただいております。今後の理想は、この NPO を組織として自立できるような体制（特にスタッフ）の皆様にとストレスがかからないような事務局のシステムを構築することではないかと、時代の流れに沿いながら、それらを盤石にしつつ、NPO が更に発展していくことを心より願っています。

思いだしますと、この NPO で色々な人に出会い、教えられ、助けられ、楽しい時間を共有させていただきました。特に直近の思い出として、10 周年の記念懇親会では、希望していた出し物「白雪姫と 7 人の小人」ミュージカルを、立ち上げから長きにわたり NPO を支えてこられた理事の皆様や、コースを支えられているスタッフの皆様とともに上演でき、NPO の良さを改めて心から感じられた瞬間でした。

NPO の活動は、どこにでもある活動の形ではない、すばらしい繋がりをもった活動団体だと思います。理事の方々をはじめとして会員の方々も志を共に進んでいる、胸を張って素敵な団体と言えます。近い将来、私にも節目が訪れ、この素晴らしい団体「NPO 救命おかやま」を外からみるような時がいずれ訪れると思います。それまで、あと少し、どうぞよろしくお願いいたします。

皆様に感謝を込めて、「15 年間、ありがとうございました。」

## 2. お知らせ

### ■ 今後の NPO について

NPO 救命おかやまは、これまで、事務局機能を岡山大学の救急医学教室に依存していましたが、私が退官し、事務局業務の中枢をお願いしていた岡本さんも退職ということで、新しい形を模索してきました。その結果、事務所は小川さんの仲介により、（株）大熊のオーナーのご配慮で岡山大学病院の近くに借りることができ、NPO の物品もそこに収納されました。また、パートで 1 名の事務局員を採用しました。ただ、NPO 救命おかやまの発展とともに、コース拡大によるコースごとの事務・会計処理、機器の貸出とそのメンテナンスも、それらに比例して非常に多くなってきました。また、会社一つの事務をすべて行うような煩雑業務のようなところがあり、会員名簿管理、HP の管理、会報の作成、会計監査、事業計画と報告、事務局会議、理事会、総会、法務局登記や県への申請等々の事務局運営を、パートでこなすには無理があります。また、これらの業務をすべて完璧に行うことができる人材を見つけることも非常に困難な状況です。そのため、コース開催に当たっては CD および OC の方にこれまで事務局が行っていた業務の一部をお願いすることになっています。

学会でも、教室でも、NPO でも、実は事務局機能が最も重要であり、そこがしっかり揺るぎない場合に、われわれ会員は安心して活動ができます。そのためには有能な人が必要で、そのためにはそれなりの給料を支払わなければ人は見つかりません。一人の事務局員で完結できるのであれば、それがもっとも良いのですが、もし、それが無理であればコース処理と機材担当、会計や庶務関係などの業務担当は別に考えなければいけないかもしれません。

そのためには、これまで以上に事務局費を準備する必要があります。それぞれのコースにおいて節約できるところは節約し余剰金は事務局に返納し、また、これまで以上に広く寄付をお願いする体制を作ることも必要かもしれません。NPO 救命おかやまが次の 10 年に向かってさらに輝くために、皆様と共に考えながら歩んでいきたいと思っています。



理事長：氏家良人（川崎医科大学）

## 3. ご報告

### ◆ 2015 総会・10 周年記念活動報告会&懇親会のご報告

（平成 27 年 7 月 11 日 於：岡山プラザホテル）

### ■ 第 10 回定時総会

代表理事：氏家良人（川崎医科大学）

“NPO 救命おかやま”は H27 年 6 月より 11 年目を迎えました。平成 27 年 7 月 11 日(土)に





岡山ブラザホテル「烏城の間」において第10回定時総会を開催致しました。理事長である私が議長に任命され総会議事を進めました。議題は報告事項として、1)H26年度会員動向、2)H26年度事業報告について説明がなされ、審議事項として1)26年度収支決算、2)27年度事業計画、3)27年度収支予算案、4)定款と理事の再任・変更について、などがあげられ、それぞれ協議がなされました。会計はこれまで極めて健全会計であり、問題なく承認されました。

## ■ 2015 10周年記念活動報告会<基調講演・活動報告>



今年は、10周年ということで、理事長による基調講演、各コースの活動報告で、活動の歩みを振り返りました。たくさんの方に参加して聞いていただき、10年を懐かしく振り返りながら、直実にそれぞれのコースが根付いてきていることを感じられた、実りある活動報告会でした。

◇基調講演：『NPO 救命おかやま 10年のあゆみとこれから』

講師：氏家良人先生（NPO救命おかやま理事長・川崎医科大学救急総合診療医学特任教授）

◇活動報告： ◆ICLSコース：清輔良江先生（NPO 救命おかやま理事・倉敷中央病院）  
『明るく！楽しく！分かりやすく！』

◆救命講習会：角南和治先生（NPO 救命おかやま理事・岡山協立病院）  
『地域とのコラボレーション：市民・行政・そしてシーガルスもいっしょに』

◆AHAコース：津島義正先生（NPO 救命おかやま理事  
『ちーむAHA』 ・心臓病センター榊原病院）

◆JPTECコース：頃末浩二さん（NPO 救命おかやまスタッフ）  
『NPOとともに歩んだ岡山外傷初療』

◆ISLコース：木下公久先生（NPO 救命おかやま理事・金田病院）  
『神経専門領域と救急領域がスクラムを組んだ』

◆INARSコース：浅越博之さん（NPO 救命おかやま理事・岡山旭東病院）  
『心停止対応トレーニングから心停止回避トレーニングへ：岡山INARSコース2年半の軌跡ー』

◆MCLSコース：石井史子先生（NPO 救命おかやま理事・岡山赤十字病院）  
『DMATと連携するJPTEC災害バージョン』



## ■ 2015 懇親会・会員表彰

理事：山本英一（平井耳・鼻・のどクリニック）

君は見たか？彼が深緑のターフを駆け抜けるのを。そう、彼の名は、「ウジケブライアン」。王子とAEDを背に、白雪姫の元へ馳せ参じる勇姿を！

今年の懇親会の助演男優賞は、ウジケブライアンで決まりでしょう！主演男優、女優賞には王子様と白雪姫、最後に王子様にお姫様抱っこされた助演女優賞の女王様の演技力も忘れられません。文字通りNPOオールキャストで演じられた「白雪姫と7人の小人」NPOバージョン（脚本は岡本さん）が、今年の●●賞を独占するかも……。以下の写真をじっくりとご覧下さい。

表彰は、10周年ということもあり、盛りだくさんの賞を準備させていただきました。皆さま、甲乙付け難い活躍で、毎年のごことで頭を悩ませます。メンバーの年齢、職種、勤務先が広がり、益々充実してきました。さらに新しいメンバーも増え、今後が楽しみなNPOになったと感じます。







『白雪姫と七人の小人』  
 ～ミュージカル～  
 NPO 救命おかやま  
 心肺蘇生バージョン  
 2015年7月11日  
 NPO 救命おかやま 10周年記念



NPO 救命おかやま 10周年記念  
 『白雪姫と七人の小人』 ～ミュージカル～  
 NPO 救命おかやま 心肺蘇生バージョン

**配役**

白雪姫 志村陽子  
 王子様 矢野健太  
 王后様 宇佐美結衣  
 小人様 氏家真由人

● AHA の 7人の小人たち

小人1 石井安子  
 小人2 石井安子  
 小人3 石井安子  
 小人4 石井安子  
 小人5 石井安子  
 小人6 山下美久  
 小人7 山下美久

● GOBリンの 7人の小人たち

小人1 藤田幸哉  
 小人2 藤田幸哉  
 小人3 藤田幸哉  
 小人4 藤田幸哉  
 小人5 藤田幸哉  
 小人6 藤田幸哉  
 小人7 藤田幸哉

歌・脚本 岡本知子  
 サブタイトル 多賀子先生

### ◆ときわグループ様からの寄付報告

今年度（H27）も、ときわグループ様より 20 万円の寄付を、総会・報告会後の席で贈呈いただきました。この寄付のために、毎年ときわグループ様のパーティーの際、受付に NPO 救命おかやま用の募金箱を設置して下さっています。また、別途永山積善会さまからも昨年には 15 万円の寄付をいただきました。NPO 会員一同心より感謝申し上げます。この寄付金は、資器材購入など NPO の活動に有効に使わせていただこうと思っております。

## 4. 平成 26 年度 会員表彰

7 月 11 日懇親会にて、平成 26 年度の会員表彰を行いました。昨年同様、ICLS/ISLS/INARS/JPTCE/AHA/MCLS コース・救命講習会他、インストラクターとして NPO に参加いただきました回数、全ての会員を対象に 1 年分集計し、その中から選ばせていただきました。受賞者の皆様のご案内と最優秀の皆様のご挨拶をご紹介します。

### 【最優秀貢献賞】

**山下多賀子さん**（国民健康保険智頭病院）

この度は、最優秀貢献賞という大変名誉な賞をいただき、誠にありがとうございます。私は鳥取県に在住し、岡山県との県境に位置する山間部の病院に勤務しています。県外の私がこのような賞を頂いて良いのかという戸惑いもありましたが、救命おかやまの会員として誇りをもち、今後も活動を続けていく糧になると思いお受けすることにしました。私が救命活動と出会ったのは ICLS コース受講が最初でした。その後、AHA のコースを通して命と向き合うことになり、サイト長の津島先生はじめ、サイトの皆様にご指導いただきながら活動してまいりました。そんな折、救命おかやまに入会する機会を得、今に至っています。AHA のコースは勿論のこと、ICLS、ISLS 等いろいろな講習会を通して、沢山の皆様と出会えたことはまさに私の宝です。急変に遭遇する機会は少ないかわかりませんが、遭遇した時に動ける自分であるために今後も邁進していきたいと思っておりますので、今後ともご指導、ご鞭撻よろしくお願い致します。

### 【最優秀新人賞】

**釜野光義さん**（倉敷中央病院）

この度は、最優秀新人賞という名誉な賞をいただき、大変嬉しく光栄に思っております。まさか自分が受賞者に選ばれるとは思っていません。驚きと同時に改めて気持ち引き締まる思いです。

元々は自己研鑽の1つとして受講した ICLS がきっかけでした。その時の指導者からチーム蘇生の熱意を感じ、NPO 救命おかやまの各コースに参加するようになりました。参加を重ねるごとに会員の皆様、医療や看護に対する強い思いを受け、さらに自分も頑張らなければいけない、と良い刺激をいただいております。楽しく指導がしやすい環境作りをしてインストラクターの仲間が増えるように日々精進していきたいと思っております。皆様も一緒にアンパンマーチを指揮する仲間になりませんか。これからも皆様のご指導の程よろしくお願い致します。

**竹久千恵さん**（津山中央病院）

この度は身にあまる賞をいただき、大変ありがとうございました。このようなありがたい賞をいただけたことは私個人の力ではなく、現在に至るまで優しく・厳しく・楽しくご指導くださった方々のおかげだと感謝しています。私自身がコースを受講した時に、学ぶ楽しさを感じたように、受け手に気付きを与え、少しでも学ぶ楽しさが伝わるような導き方ができるように今後も頑張っていきたいと思っております。様々な勉強会に参加させていただくようになってから意識の高い皆様に出会い、私の医療に対する気持ちは確

実に変わりました。皆様との繋がりが私にとって大きな喜びであり、刺激となり活力になっています。歩みはのろいですが、不撓不屈の精神で日々精進してまいりますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

#### 【最優秀貢献施設賞】

岡山大学病院(施設代表挨拶:岡本知子)

この度は最優秀貢献施設賞をいただき、ありがとうございました。大学病院としてはNPOのコース開催はさほど多くなく、逆に、研修医・看護部コースでは、皆様が大変お世話になり、ありがとうございます。この度10周年のこの時にいただけたということで、この活動を立ち上げられた氏家理事長が岡山大学病院に所属されていたこと、また活動当初から事務局をここ岡山大学病院においてお手伝いをしてきたということにいただけたのだと、心より感謝いたしております。

【功労賞】・・・浅井静子さん(倉敷成人病センター)・川端利治さん(真庭市消防本部)・妹尾奈保さん(津山第一病院)・橋詰朋子さん(備前市立日生病院)・畠山悦子さん(岡山労災病院)

【新人賞】・・・市川元裕先生(倉敷中央病院)・大河原聡子さん(国民健康保険智頭病院)・高田 始さん(総社市消防本部)・中尾和絵さん(岡山協立病院)・三宅和彦さん(慈圭病院)・森田陽子さん(希望ヶ丘ホスピタル)

【貢献施設賞】・・・川崎医科大学附属病院・岡山協立病院・岡山市民病院

【グッドサポート賞】・・・久我 清さん(アイラボ)・則武健郎さん(岡山県備前県民局)

≪10周年記念企画≫

【特別功労賞】・・・氏家良人先生

【グッドサポート施設賞】・・・岡山プラザホテル様

【貢献賞(応援に行きま賞)】・・・岡山シーガルズ様

【貢献賞(継続は力賞)】・・・秦建設様



## 5. 事務局からのご案内

### ■2015 NPO 救命おかやま 第10回記念市民のための救命講習会のお知らせ



【日時】 : 2015年11月7日(土) 14:00~15:30  
【場所】 : ジップアリーナ岡山『サブアリーナ』  
(岡山駅西口より徒歩約20分)  
【受講募集】 : 150名(先着順)  
※小学生以下の方は、保護者の方と一緒に申し込んでください。



(岡山協立病院 内科 角南 和治)

2015年の第10回市民のための救命講習会は、第1回おかやまマラソンの協働事業としての開催となりました。例年同様、市民のための講習会として、今年も多くの市民の方に参加いただけたらと思いますので、皆さんの周りの方々にもぜひお願いします。同時に、協働事業として、マラソンランナーやマラソン関係者にも参加いただけるようご案内をしております。岡山で開催されますおかやまマラソンにNPOがこのような形でかかわることができますことはとても光栄で、記念すべき第10回にふさわしい救命講習会を開催したいと思っておりますので、皆様ご協力の程よろしく願いいたします。

尚、参加についての詳細はHPよりご確認ください。

### ■おかやまマラソン医事救護(AED班)スタッフにNPO会員として参加

NPO救命おかやまとして、AED班を一手に引受けることになりました。

待機AED班84名、自転車AED班22名、フィニッシュAED班12名、備品担当2名、統括(救護本部)5名の合計125名がボランティア参加することになりました。現在まで10年の我々の活動が行政や医師会などで認知信頼された結果と大変うれしく思います。

しかし、ランナーが15000人なら、実際に1-2名の心停止が発生する可能性があるそうです。講習会の指導とは異なり、本物の心肺蘇生を実行するわけで、責任の重さを感じます。もっとも心停止の初期対応BLS手順はシンプルですから、何をすべきか指導してきた我々ならできます。万一のときは、死戦期呼吸に惑わされることなく、どうぞ勇気を持って頑張らしましょう。

なお、参加される方は、10/18(日)の事前説明会に極力ご出席いただきますようよろしくお願い致します。

【ピンチヒッターのお願い】AED班スタッフで、体調不良などで直前に参加できなくなる場合もあらうと予想されます。そこで、『スケジュールを一応確保しておくから、万一の時は参加してあげよう』という方、ぜひ補欠要員としてNPO救命おかやま事務局までご連絡ください。ご協力をどうぞお願いします。

♥会報写真集は、HP集からピックアップして作成しています。

活動写真のUPを引き続き宜しくお願いいたします。

♥平成26年度(H26.6.1~H27.5.31)も会員の皆様のご協力のおかげで無事年度を終えることができました。

所轄庁へのNPOの実績報告や法務局への変更登録もどうにか無事終了し、新たな年度が進んでおります。

事務所移転等ご迷惑をおかけいたしますが、今年度も引き続き会員の皆様のご協力宜しくお願いいたします。

♥2015年8月下旬より、パートの松上江津子さんを採用し、コース開催の補助、器材貸出、会計処理等のお手伝いをいただくことになりましたので、皆様よろしくお願い致します。

♥前回の会報発送に会費請求書類を同封致しておりますので、お振込みが未だの方はどうぞ宜しくお願いいたします。



【発行元】 特定非営利活動法人 NPO救命おかやま 事務局

〒700-0914 岡山市北区鹿田町1-7-10  
電話&FAX: 086-226-3999

E-mail: kyumeiok@md.okayama-u.ac.jp  
HPアドレス: http://npo-ok.umin.jp

